

## 「春風接人、秋霜自肅」

校長 野上 浩資

穏やかな天候の下、3月11日に、令和6年度第42回卒業式を執り行いました。卒業証書授与の後、校長式辞として以下の話をしました。

『卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。』

今年度、飯山満中学校が、活気と落ち着きのめりほりがあり、皆が充実した毎日を過ごせ、「船橋市で一番素晴らしい学校」と誇ることができたのは、最上級生として飯山満中学校の歴史を立派に紡いできた、皆さん一人一人の心がけと行動のおかげです。その姿は、下級生の目にもしっかりと焼き付けられ、大きな目標として受け継がれていくことでしょう。

また皆さんは、飯山満中学校で過ごし、学んだ3年間で、課題を見つけ自ら解決する力、他者と認め合い協力し課題に取り組む力、よりよい自分であるために努力する力、つまり「未来を創る力」をしっかりと身につけました。そして、これこそが校歌にも歌われ、脈々と受け継がれてきた「生き抜く力」にほかなりません。この力を成長の源にして、いろいろなことに挑戦し、これからの人生を自分らしく歩んでください。

そんな皆さんに、卒業の餞として、この言葉を送ります。

それは、「春風を以て人に接し、秋霜を以て自ら慎む。」です。

これは、江戸時代末期の儒学者であり、朱子学や陽明学の大家である佐藤一斎（いっさい）の言葉です。「春の風のように暖かい心で他人に接し、

秋の霜のように厳しい気持ちで自らを律する。」という意味です。

時代や社会が変化しても、人と人の関わりの源は不変です。人間性豊かに大きく成長した皆さんだからこそ、人には爽やかで温かい接し方を心がけ、自らの言動には厳しさと慎みを忘れず、夢や希望に邁進してください。』

そのほか、それぞれの思いがあふれる答辞や送辞、式を締めくくる「大地讃頌」の響きなど、卒業生の旅立ちを飾るにふさわしい行事となりました。

本年度も、残すところあと僅かとなりました。保護者の皆様に、日頃から学校へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。来年度も、職員が一丸となって教育活動に一層邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

### 【三年生を送る会】

3月3日（月）に「三年生を送る会」が行われました。1・2年生がお世話になった3年生が楽しめる会になるよう、自ら考え、趣向を凝らした発表をしました。今年度は映画「ハサエもん」を劇で表現しました。1年生は冒頭の発表や招待状、装飾を担当しました。2年生は学年で演者、道具、スライド・照明、ダンス等を分担して発表しました。「ハサエもん」は登場人物たちが中学校生活を振り返りながら、宝箱を開ける鍵を探す設定で、劇やダンス、スライドショー等が披露されました。劇中の小道具の登場に会場が沸き、ダンスは拍手でさらに盛り上がり、スライドショーになると、しみりと3年間の思い出を振り返るなど、心に残る発表会となりました



素晴らしい演技と小道具



映画館を連想させる装飾



記念品贈呈

### 【第42回 卒業式】

3月11日（火）第42回卒業式が行われました。厳粛な雰囲気の中にも温かみがある卒業式となりました。次のステージでも飯山満中学校で培った「未来を創る力」を大切に頑張ってください。



### 【1・2年生保護者会・学級懇談会】

3月21日（金）1・2年生の年度末保護者会が来校とオンラインのハイブリッド型で行われました。はじめに、今年度の学校経営と本校の特色について校長先生からお話がありました。教務主任からは、飯山満中学校の学習や校内研究についての成果や課題を全国学力学習状況調査の結果に基づいて説明してもらいました。学年主任からは活動報告や来年度に向けての計画についてのお話がありました。その後の学級懇談会では担任と一年間を振り返りながら、子どもたちの成長を感じることができました。新年度に向けて、新しい目標をもって過ごしてもらいたいと思います。

